

第71回 宮城県中学校総合体育大会専門部要項

陸上競技

1. 期 日 令和4年7月22日（金）～24日（日）
2. 会 場 弘進ゴムアスリートパーク仙台（仙台市陸上競技場）
3. 競技規則 2022年（公財）日本陸上競技連盟規則及び本大会実施要項による
4. 大会規則

（1）競技方法

学校対抗は男女別とし、それぞれ合計点の多い順に順位を決定する。1位が同点の場合は、優勝種目の多い方を1位とし、2位以下については、同点の場合は同順位とする。同一種目で同じ学校の選手が3名入賞した場合は、上位2名の選手に得点を与え、3人目の得点についてはカットする。得点は、1位8点、2位7点、……………8位1点とする。

（2）申込締切

申し込みは全て事前にデータ送信で行う。各郡市委員長が自分の担当郡市をまとめて送信をする。

なお、委員長は「様式A」を印刷またはPDFにし、抽選会までに提出する。

データ送信先・締切日は下記とする。ただし、専門部総会で特例として認められた地区は締切日を別に定める。

締切：6月28日（火） 12：00（正午）

電子メール送信先 仙台市立郡山中学校 小野 修平 宛

Eメール送信アドレス sono-028@sendai-c.ed.jp

（ア）「様式A」の提出が郵送またはPDFデータ送信の場合

7月1日（金）必着で、県委員長宛に郵送またはデータ送信すること。

※「様式A」を印刷し、郡市中体連会長印・委員長印を押印したものをPDFにするか、紙媒体で。

県委員長校 仙台市立鶴が丘中学校内 小笠原 豪 宛

〒981-3190 仙台市泉区鶴が丘2丁目1-1

Eメール送信アドレス ogago@sendai-c.ed.jp

（イ）「様式A」の提出が持参の場合

7月5日（火）の県中総体抽選会に持参すること。

データ送信した「様式A」を印刷し、郡市中体連会長印・委員長印を押印したものを提出

抽選会場：仙台市立茂庭台中学校（部会長校）

（ウ）郡市大会の成績一覧を添えること。

（3）競技種目

《男子17種目》

1年100m, 2年100m, 3年100m, 共通200m, 共通400m, 共通800m, 1年1500m, 2・3年1500m, 共通3000m, 共通110mH, 共通4×100mR, 低学年4×100mR, 共通走高跳, 共通棒高跳, 共通走幅跳, 共通砲丸投, 共通四種競技(1日目…①110mH②砲丸投 2日目…③走高跳④400m)

《女子14種目》

1年100m, 2年100m, 3年100m, 共通200m, 共通800m, 1年1500m, 2・3年1500m, 共通100mH, 共通4×100mR, 低学年4×100mR, 共通走高跳, 共通走幅跳, 共通砲丸投, 共通四種競技(1日目…①100mH②走高跳 2日目…③砲丸投④200m)

(注) 男子110mH, 高さ91.4cm スタート～第1ハードル13.72m, インターバル9.14m, 台数10台

(注) 女子100mH, 高さ76.2cm スタート～第1ハードル13.00m, インターバル8m, 台数10台

(注) 男子砲丸の重さは、共通5kg, 四種競技4kg

(4) 参加資格

- (ア) 学校教育法に定められた中学生で、当該種目の選手または補欠として登録された者。
1人1種目とする。(ただし、駅伝、スキー、スケートを除く)
- (イ) 学校教育法第134条の各種学校(1条校以外)に在籍している中学生。
- a 参加を希望している各種学校は以下の条件を具備すること
- ① 宮城県中体連の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重する。
 - ② 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している単独の学校で構成されている。
 - ③ 参加を希望する学校は、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該顧問教員の指導のもとに適切に行われている。
- b 宮城県大会に参加した場合に守るべき条件
- ① 出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力する。
 - ② 大会参加に際しては責任ある当該校長又は教員が生徒を引率する。また万一の事故発生に備え、傷害保険に加入するなどして、万全の事故対策を立てておく。
 - ③ 大会開催に要する経費については、応分の負担をする。
- (ウ) あらかじめ健康診断を受け、異常を認めない者。
- (エ) 過年齢生徒の参加については、体力的、技術的要因が大きく関わると考え、満16歳に達した年度まで出場できるものとする。また、学年指定種目については該当年齢とする。

(5) 出場制限

- (ア) 学年種目は、相当学年の生徒に限る。
共通種目については、1年生も出場できる。
他国籍生徒などの学年種目出場については、他の選手が不利益にならないようにする。共通種目については、中体連規定による。
- (イ) 1人1種目、ただし、他にリレー1種目を兼ねることができる。
- (ウ) 各校の同種目の出場人数は、最大で1校3名以内とする。
ただし、四種競技は1校2名、リレーについては1チームとする。
リレー2種目を兼ねることはできない。
低学年リレーの登録は6名以内とし、各学年4名までとする。メンバーは2年生2名、1年生2名とし、オーダーは自由とする。
- (エ) 各郡市の出場人数は、中体連出場基準(前年度の出場予定校数)により下記の通りとする。
- a 1種目2名(8校以下の地区)…白石・刈田(8)、角田・伊具(4)、亘理(5)、岩沼(4)、名取(5)、塩釜(5)、多賀城(4)、宮城(6)、遠田(4)、加美(4)、栗原(7)
- 1種目3名(9~14校の地区)…柴田(9)、富谷黒川(9)、大崎(12)、登米(10)、気仙沼・本吉(13)
- 1種目4名(15~20校の地区)…該当なし
- 1種目5名(21~26校の地区)…石巻地区(22)
- 1種目12名(55校以上)…仙台市(男61、女62)
- b 男女四種競技、男女走高跳、棒高跳、について、下記の標準記録を突破したものについてはその人数だけ出場することができる。
四種競技(男子:1700点、女子:1700点)
走高跳(男子:1m55、女子:1m35)
*但し、各郡市の予選大会において標準記録突破者がいない場合は、1位のみ出場できる。
棒高跳(2m50)
- c リレーについては
- 郡市1チーム(9校以下の地区)
白石・刈田、角田・伊具、柴田、亘理、岩沼、名取、塩釜、多賀城、宮城、富谷黒川、遠田、加美、栗原
- 郡市2チーム(10~16校の地区)
大崎、登米、気仙沼・本吉

郡市3チーム(17~23校の地区) 石巻市
 郡市9チーム(59校以上の地区) 仙台市
 以上、合計32チームとする。 ※今年度、特別枠は「なし」

【特別枠について】県新人大会において、県中総体の各郡市の出場枠数を超えた数の学校が決勝に残った場合、県中総体出場枠以外に、該当地区へ県大会出場特別枠を与える。

- (オ) 出場選手等は、「体調管理チェックフォーム」に毎日入力し送信すること。送信ができない場合は紙媒体の「体調管理チェックシート」提出すること。また、「大会出場承諾書」を事前に各所属に提出すること。なお、提出のない者は、エントリーすることができない。

各所属の代表者は、当日来場する生徒の「体調管理チェックフォーム」への送信と、「紙媒体提出者等」の確認のため、「学校同行者一覧表」を作成し大会期間中毎日受付に提出すること。

ADカードを各学校ごとに作成し、常に携帯すること。ADカードによる通行規制を行います。

- (6) フィールド競技の^パスライ(予選実施種目)及び競技開始の高さ、バーの上げ方は下記の通りとする。

	(走幅跳)	(走高跳)	(砲丸投)	
男子	5m75	1m60	10m00	←R3年度のもの R4年度については、抽選会で決定
女子	4m70	1m40	9m70	

○バーの上げ方

走高跳 決勝(男子)(1m50or1m65練習) 1m60-65-70-以後3cm刻み(73-76-79-82-85・・・)

決勝(女子)(1m30or1m45練習) 1m40-45-以後3cm刻み(48-51-54-57-60・・・)

予選(男子)(1m50練習) 1m55-60 (女子)(1m30練習) 1m35-40

棒高跳 決勝(2m40or3m30練習) 2m50-65-80 以後10cm刻み(90-3m00-10-20・・・)

*決勝練習は2段階で行う

※上記^パスライを通過する者が12名に満たない場合は、予選12位と同成績の者までが決勝に進出するものとする。(高さの競技は順位で決定する・・・181条⑧)

四種走高跳 (男子)(1m40練習) 1m45-50-55-60 以後3cm刻み

(女子)(1m15練習) 1m20-25-30-35 以後3cm刻み

- (7) その他

(ア) プログラムの編成は、委員長に一任のこと。(各ブロックの専門部員は、これを補佐すること。)

(イ) 本競技会は、2022(公財)日本陸上競技連盟競技規則及び、宮城県中学校体育連盟会報、本大会の申し合わせ事項によって行う。参加者全員のシューズチェックは行わない。ただし、審判、審判長の権限により求められた場合にはシューズをチェックする。

(ウ) 各レースで不正スタートは、混成競技を除き、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。混成競技は、不正スタートを2回目以降に行った選手が失格となる。スタートの合図については英語で行う。

※スタート時の不適切行為に関しては審判長によって警告「イエローカード」を与えられることがある。2枚の「イエローカード」の提示を受けた競技者には「レッドカード」が提示され、当該種目のみを失格とする。ただし、競技会からは除外しない。

(エ) 四種競技は2日間で行い、順序は、下記の通り行う。

男子(①110mH②砲丸投③走高跳④400m) 女子(①100mH②走高跳③砲丸投④200m)

招集はすべて招集所で行う。

(オ) アスリートビブスは縦20cm×横24cm以内の布に男子は黒、女子は赤の数字とし、胸・背にしっかり付けること。(但し、跳躍競技は胸・背どちらか一方でよい。)

(カ) 全種目4位まで東北大会出場とする。ただし、申し込み前に、辞退する選手がでた場合は、繰り上げて出場させる。4位が複数となった場合は東北大会をかけた出場決定戦を行う。

(キ) リレーの全国大会出場は、通信陸上と県中総体での優勝チームの記録の上位チームとする。

但し、同タイムの場合は通信陸上、県中総体の予選・準決勝を含めたセカンドタイムの良い方が出場権を得る。

(ク) リレーは、予選タイムレースで上位16チームが準決勝に進出する。

(ク) アスリートビブスは、各学校割り当て（男女各40名分）に応じて準備する。

＊年間を通じて一人の選手が同じ番号を各郡市・県中体連・各種陸協主催の大会で使用。

＊不足した場合は、予備の番号を与えますのでご連絡下さい。

(コ) 健康診断は各学校行い、学校長の許可を得て申し込むこと。

(カ) 救護については宮城県中学校養護教諭及び看護師に委嘱する。

(シ) 競技中に負傷した場合の応急処置のみを救護係が行い、必要に応じて各所属が救急病院等と連絡をとる。また、参加者は健康保険証を持参することが望ましい。

(ス) 日本スポーツ振興センターの災害救済給付が適用される。

(セ) 個人情報の取り扱い（利用目的）

個人情報保護に関する法令を遵守し、取得した個人情報、選手氏名・学校名・学年等の情報は本大会プログラムへ掲載し広く公表し、大会結果集約に利用します。また、成績上位者については報道発表並びにホームページに掲載します。記載、掲載に関して各学校で同意を確認し、同意が得られない等、事情がある場合は抽選会まで県中体連事務局（022-725-4207）へ連絡すること。特に申し出がない場合は、この申込により掲載を承諾したものとします。

※本大会の観客については、新型コロナウイルス感染症拡大等の状況と、会場の収容人数の関係を踏まえ、出場選手の保護者（各家庭1名、未就学児は除く）のみに限定します。ただし、今後の感染の拡大状況により、無観客での実施となる場合もあります。